

3 映像事業 (2015 (平成27) 年度)

1920年代に興ったアヴァンギャルド映画を源流とする、映像表現の可能性を拡張するような実験的な動向に着目し、上映会の開催やオリジナル映像作品制作などの事業を行った。

愛知県美術館コレクション作品 勅使川原三郎 『T-CITY』 上映会

「あいちトリエンナーレ2016」プロデュース・オペラの演出を担当する勅使川原三郎が初監督した『T-CITY』(1993年、愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第2弾)などを上映した。

日 時：2015年6月21日(日) 午後2時

会 場：アートスペースA (愛知芸術文化センター12階)

入場者：56名

第20回アートフィルム・フェスティバル

「フランス・ドキュメンタリー 都市とアートを巡る旅」、「パトリック・キラー「ロビンソン三部作」+風景の映像」、「松本俊夫著作集成第一巻 1953-1965」刊行記念 松本俊夫 新発見&再発見」、「コレクション企画「線の美学」展関連プログラム」の特集プログラムを実施。オリジナル映像作品の最新作である、山城知佳子『創造の発端 - アブダクション / 子供 -』(2016年、シリーズ第24弾)を初公開。

会 期：2015年11月29日(日)～12月6日(日) *7日間開催(11月30日(月)休映、上映時間は日により異なる)

会 場：アートスペースA (愛知芸術文化センター12階)

入場者：707名(延べ)

上映・トーク：2015年12月6日(日)(参加人数 68名)

午後1時30分～午後2時20分 上映

山城知佳子『創造の発端 - アブダクション / 子供 -』

午後2時30分～午後4時 トーク

山城知佳子(美術家、映像作家)

聞き手：越後谷卓司(愛知県美術館主任学芸員)



アーティスト・トーク

愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品の制作

田村友一郎を担当作家に選出し、シリーズ通算第25弾『アポロンの背中』の制作を行った。

本シリーズは、“身体”を統一テーマに様々な作品を生み出してきたが、本作は、ユージン・サンドゥに始まる近代ボディビルディングと19世紀末のシネマトグラフを起源とする映画をパラレルにとらえ、思索的なアプローチを試みた。

